

《学校教育目標》 ○思いやりのある子 ◎自ら学ぶ子 ○たくましい子



校
報

あしっこ

令和2年度 12月

立川市立第九小学校
校長 菊池 修
立川市上砂町2-18-1
Tel.042-536-2231

開校記念日に思う

校長 菊池 修

先日、全校朝会で子どもたちに話をした中で、「10833」という数字を紹介しました。これは、これまでに第九小学校を卒業した人の数です。今年の6年生、つまり卒業生を加えると「10917」となります。

11月27日は第九小学校の開校記念日です。今年で148歳になりました。148年間で10917人が卒業ということになります。開校記念日に向けて九小にまつわる数字という内容で話をした中での数字です。

148年前、明治5年に五日市街道の3番の近くにある「流泉寺」の境内にできた「西砂川学校」が九小の始まりでした。そのころの砂川地区というのはどんな風景だったのでしょうか。当然今の時代と違って、立派な道路や、マンションなどはありません。畑や野原、雑木林などがたくさん見られたのではないのでしょうか。五日市街道沿いに家が建っていてそれぞれの敷地内で遊ぶ子どもたちが見られたのではないかと思います。関東大震災や戦争をはじめ、様々な世の中の出来事や変化の中で、少しずつ九小の周りの様子も変わってきています。

九小の卒業生には、3代または4代にわたって九小に通ったという方もいます。これから先も5代6代と代々九小の卒業生というお宅がおられるようになると思います。再来年は150周年を迎えます。200周年300周年の頃の九小の周りはどうなっているのでしょうか。

148年前の人たちが予想もしていなかった風景が今見られていると思います。200周年300周年の頃の風景もきっと予想していないような風景かもしれません。

今年もあと1か月となりました。3月以降は「コロナウィルス」に振り回される毎日でした。まだまだ感染が心配される状況です。いつもの年末年始とは雰囲気が異なってくるでしょう。そんな中ではありますが、子どもたちは成長しました。コロナ禍で、今までとは違う形での教育活動になったこといくつかありましたが、その環境の中で力を発揮してくれました。また、マスクの着用、手洗いうがい、消毒ということも当たり前のこととしてできています。保護者地域の皆様のご理解とご協力のおかげで教育活動に取り組むことができました。本当にありがとうございます。

今後も感染予防に努めながら、今の状況でできること、この状況だからこそできることを考えて取り組んでまいります。早く「コロナウィルス」について安心できる環境が来ることを願っています。